

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-151148

(43)公開日 平成11年(1999)6月8日

(51) Int.Cl.^a
A 47 F 7/00
B 43 K 23/04

識別記号

F I
A 47 F 7/00
B 43 K 23/04Q
D

審査請求 未請求 請求項の数7 FD (全6頁)

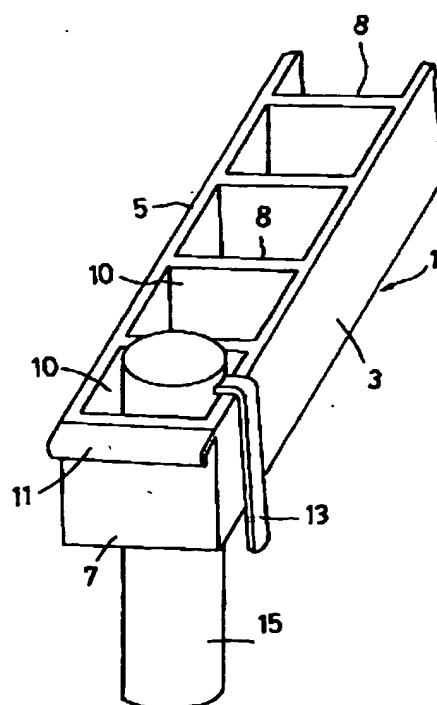
(21)出願番号 特願平9-340584
(22)出願日 平成9年(1997)11月25日(71)出願人 390039734
株式会社サクラクレバス
大阪府大阪市中央区森ノ宮中央1丁目6番
20号
(72)発明者 吉田 雄弘
大阪市東成区中道1丁目10番17号 株式会
社サクラクレバス内
(72)発明者 馬淵 茂之
大阪市東成区中道1丁目10番17号 株式会
社サクラクレバス内
(72)発明者 小林 宣曉
大阪市東成区中道1丁目10番17号 株式会
社サクラクレバス内
(74)代理人 弁理士 藤田 隆

(54)【発明の名称】 塗布具保持体

(57)【要約】

【課題】 塗布具に設けられているクリップを有効に利用することにより、塗布具を整頓して保持することができ、しかも、陳列等のための包装容器を不要にしてコストの削減を図ることができ、且つ不要な包装容器のゴミをなくすようにする。

【解決手段】 塗布具15を保持する塗布具保持体であって、塗布具15のクリップ13が係止可能な被係止部3、18が保持体本体1に設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 塗布具を保持する塗布具保持体であつて、塗布具のクリップが係止可能な被係止部が保持体本体に設けられてなることを特徴とする塗布具保持体。

【請求項2】 前記保持体本体には、少なくとも一面が開口する収納部が形成され、該収納部に収納される塗布具のクリップが、収納部を構成する壁に係止可能である請求項1に記載の塗布具保持体。

【請求項3】 前記保持体本体の収納部は、複数の塗布具が収納可能である請求項2に記載の塗布具保持体。

【請求項4】 前記保持体本体は陳列台に着脱自在に取り付け可能である請求項1、2又は3に記載の塗布具保持体。

【請求項5】 前記塗布具保持体は、シート体と該シート体に吊り下げられた環状体とを備えてなる請求項1に記載の塗布具保持体。

【請求項6】 塗布具を保持する塗布具保持体であつて、塗布具のクリップが係止可能な被係止部と、吊り下げ可能な吊下部とがシート体から一体的に構成されてなることを特徴とする塗布具保持体。

【請求項7】 前記シートは再生紙からなる請求項5又は6に記載の塗布具保持体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えば店頭等で陳列されるボールペン、フェルトペン、ラインマーカー等のクリップを有する塗布具を保持するための塗布具保持体に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、ボールペンやフェルトペン等のクリップを有する塗布具は、店頭等で陳列される場合、例えば、上面が開口する有底の収納ボックスに、複数の塗布具がまとめて収納されたり、または、単数又は複数本が合成樹脂材料から形成された包装容器に完全に収納され、該包装容器が陳列台のフックに係止されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 前記収納ボックス内に塗布具を収納して陳列する場合には、該収納ボックス内で塗布具は固定されおらず容易にずれるため、最初は整頓されているにもかかわらず、購入に際して収納ボックス内の塗布具が減少すると、互いに交差する不規則な姿勢で且つ乱雑な状態で陳列されることとなる。このため、店員が、その乱雑な塗布具を整頓し直さなければならず、非常に面倒で煩雑である。また、塗布具が少なくなった収納ボックス内に新しい塗布具を補充する場合にも、乱雑な塗布具を整頓し直さなければ、その補充作業が困難となる。

【0004】 また、包装容器で包装する場合には、上記のような問題はないが、塗布具が不用意に脱落しないように、包装容器は塗布具全体を被覆しているため、包装

容器を含めた塗布具のコストが高くなる傾向にあった。

【0005】 本発明は、従来技術の上記した問題点に鑑み、塗布具に設けられているクリップを有効に利用することにより、塗布具を整頓して保持することができ、しかも、陳列等のための包装容器を不要にしてコストの削減を図ることができる塗布具保持体を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明が上記した課題を解決するために講じた技術的手段は、塗布具を保持する塗布具保持体であつて、塗布具のクリップが係止可能な被係止部が保持体本体に設けられてなることにある。

【0007】 従って、クリップを保持体本体の被係止部にクリップの弾性力に抗して押し込むと、クリップはその弾性力で塗布具との間で該被係止部を挟持することとなり、塗布具は被係止部に対してずれ難くなり、所定の位置で保持される。

【0008】 また、塗布具を塗布具保持体から取り出す場合には、塗布具をクリップが被係止部から外れる方向に引っ張れば良く、塗布具の塗布具保持体への着脱はワンタッチで容易に行なうことができる。

【0009】 前記保持体本体には、少なくとも一面が開口する収納部が形成され、該収納部に収納される塗布具のクリップが収納部を構成する壁に係止可能である。しかも、保持体本体の収納部は、複数の塗布具が収納可能である。

【0010】 前記保持体本体は陳列台に着脱自在に取り付け可能であるのが好ましい。

【0011】 前記塗布具保持体は、シート体と該シート体に吊り下げられた環状体とを備えてなることにある。

【0012】 また、塗布具を保持する塗布具保持体であつて、塗布具のクリップが係止可能な被係止部と、吊り下げ可能な吊下部とがシート体から一体的に構成されてなることにある。

【0013】 前記シート体は再生紙からなるのが好ましい。

【0014】

【発明の実施の形態】 以下に本発明の実施の形態について説明する。図1及び図2は本発明の第1実施の形態の塗布具保持体を示し、1は合成樹脂から成形されてなる保持体本体で、該保持体本体1は平面規矩形状を呈し、前後壁3、5と両側壁7とを備えている。また、前後壁3、5には区画壁8が接続され、区画壁8は複数の収納部10を形成するように、保持体本体1の長手方向に等間隔をおいて複数設けられている。尚、収納部10は上面が開口されている。

【0015】 前記保持体本体1の両側壁7には、取付部11がそれぞれ形成され、各取付部11を、例えば、図2に示す如く陳列台(ゴンドラ)12から突設されかねる保持体14に上方から着脱自在に係止可能となつてい

る。

【0016】前記収納部10には、長尺状の塗布具15が挿脱自在に挿通されると共に、塗布具15に設けられたクリップ13が、前壁3に上方から掛止できるようになっている。前後壁3、5及び区画壁8の肉厚は、クリップ13がそれぞれ係止できるように、略同一に設定されている。従って、塗布具15を保持体本体1の前壁3以外に後壁5及び区画壁8に係止でき、塗布具15を落下することなく保持することが可能である。ここで、前後壁3、5及び区画壁8が被係止部となり、前後壁3、5及び両側壁7には、適宜塗布具を表示する商標名等の文字や絵柄が表示されている。

【0017】また、前記ゴンドラ12は、前面が傾斜しているため、塗布具保持体を上下に複数段に設けても、塗布具15を収納部10に対して上方から挿脱する際に、上方の塗布具15が邪魔になることはない。

【0018】本実施の形態は、各塗布具15を収納部10に収納すると共に、クリップ13で前壁3等に係止することにより、整頓して陳列することができる。しかも、塗布具15が購入されることにより空になった収納部10に、塗布具15を補充する際には、他の収納部10に保持された塗布具15が邪魔になることはなく、簡単に補充することができる。

【0019】また、塗布具保持体を繰り返して使用できることから、個々に塗布具15を包装容器で包装して陳列する場合に比し、不要な包装容器のゴミがなくなり、その廃棄処分の手間が省け、省資源化を図ることができる。また、陳列に際しては、各塗布具15を包装容器等で収納する必要がないためコストの削減も図ることができ、非常に経済的である。

【0020】尚、塗布具保持体をゴンドラ12に取り付ける手段としては、保持体本体1に取付部11も設けることなく、保持体本体1を被係止体14に直接載置するようにも良く、その取り付け手段は特に限定されるものではない。

【0021】しかも、収納部10は必ずしも上下面を開口させる必要はなく、保持体本体1の上下方向の幅が十分に大きくて、係止される塗布具15の邪魔にならない限り、収納部10の下面是底壁で閉塞しても良い。また、上下面を壁で閉塞し且つ前後面を開口させることにより、塗布具15を収納部10に前後方向（水平方向）に挿通し、クリップ13は上壁又は下壁を係止することも可能である。

【0022】図3は、本発明の第2実施の形態を示し、保持体本体1は再生紙（シート体）から形成されている。該保持体本体1はゴンドラ12側の係止体14が挿通される被係止孔16を有する後壁17と、前壁18と、両側壁19とから収納部10が形成されたものである。

【0023】該収納部10は上下面が開口し、複数の塗

布具15が挿通されるようになっており、各塗布具15のクリップ13が、前壁18または両側壁19にそれぞれ上方から係止されている。

【0024】本実施の形態の塗布具保持体は、各塗布具15を前壁18や両側壁19に係止するため、複数の塗布具15を整頓して保持することが可能である。また、保持体本体1は再生紙から形成されているため、資源の有効利用を図ることもできる。

【0025】図4は、本発明の第3実施の形態を示し、本実施の形態の保持体本体1は、シート体としての再生紙を矩形状に形成したものである。該保持体本体1には、前記同様に被係止孔16が形成されると共に、該被係止孔16の下方には、係止開口22が形成されている。そして、該係止開口22には塗布具15のクリップ13が挿入され、係止されている。

【0026】本実施の形態の塗布具保持体は、一枚のシート体から構成するため、安価で且つ容易に製造でき、しかも、再生紙を利用するため、資源の有効利用を図ることもできる。

【0027】図5は、本発明の第4実施の形態を示し、本実施の形態の保持体本体1は、被係止孔16を有する矩形状のシート体25と、該被係止孔16に挿通されたリング状の吊下環26で吊り下げされた環状体としての輪ゴム28とからなる。そして、該輪ゴム28に塗布具15のクリップ13が係止されるようになっている。

【0028】本実施の形態の場合、輪ゴム28が被係止部となることから、塗布具15を輪ゴム28に係止した際に多少揺動するが、塗布具15はそれぞれの自重により垂直状態で停止するため、整頓することができる。

【0029】更に、図6（イ）に示す本発明の第5実施の形態は、前記保持体本体1には、被係止孔16に連続する切り込み30が形成され、該切り込み30を介して輪ゴム等の環状体28を直接被係止孔16に掛けた構成のものである。

【0030】図6（ロ）に示す本発明の第6実施の形態は、再生紙からなるシート体を矩形状に形成した保持体本体1に、係止開口22が形成されている。そして、該係止開口22の上方には、輪ゴム等の環状体31が取り付けられている。尚、環状体31の取り付け手段は、前記第4実施の形態及び第5実施の形態で例示した構成が採用できる。

【0031】図6（ハ）に示す本発明の第6実施の形態は、保持体本体1が再生紙からなるシート体から構成されている。即ち、シート体の上方に略半円状の開口35を形成することにより、矩形状の被係止部33と、吊り下げ可能な吊下部32とが一体的に形成されている。そして、塗布具15は、開口35からクリップが挿入さ

れることによって、該クリップが輪ゴム等の環状体31に掛けられる。

れ、被係止部33の上縁部から係止されるようになって
いる。

【0032】本実施の形態は、保持体本体1を一枚のシ
ート体から構成するため、安価で且つ容易に製造でき、
しかも、再生紙を利用するため、資源の有効利用を図る
こともできる。

【0033】本発明は上記の実施の形態に限定されるも
のではなく、塗布具保持体の形状及び材料は特に限定さ
れるものではなく、シート体は再生紙以外に合成樹脂製
のものであっても良い。

【0034】

【発明の効果】本発明の塗布具保持体は、塗布具のクリ
ップが係止可能な被係止部が保持体本体に設けられてい
るので、塗布具に設けられているクリップを有効に利用
して被係止部に係止することにより、整頓させた状態で
簡単に保持することが可能となる。従って、乱雑になっ
た塗布具を整頓し直す手間が不要となると共に、塗布具
の塗布具保持体への補充も容易且つ迅速に行なえる。

【0035】また、クリップを利用することから、従来
のように陳列のために包装容器で包装する必要もなく、
コストの削減を図ることも可能となる。

【0036】しかも、前記保持体本体には、少なくとも
一面が開口する収納部が形成され、該収納部に収納され
る塗布具のクリップが、収納部を構成する壁に係止可能
である場合には、塗布具保持体を繰り返して使用でき、
個々に塗布具を包装容器で包装して陳列する場合に比
し、不要な包装容器のゴミがなくなり、その廃棄処分の
手間が省け、省資源化を図ることができる。

【0037】更に、保持体本体はクリップが係止できる
程度の薄肉のものが採用できるため、再生紙から構成し
た場合であっても、陳列等に十分な強度が得られ、資源
の再利用に供することとなり、その実用的価値は著大で
ある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の塗布具保持体の第1実施の形態を示す
斜視図である。

【図2】(イ)ゴンドラに塗布具保持体を取り付けた状
態の正面図、(ロ)同断面側面図である。

【図3】本発明の塗布具保持体の第2実施の形態を示す
斜視図である。

【図4】本発明の塗布具保持体の第3実施の形態を示
し、(イ)は正面図、(ロ)は断面側面図である。

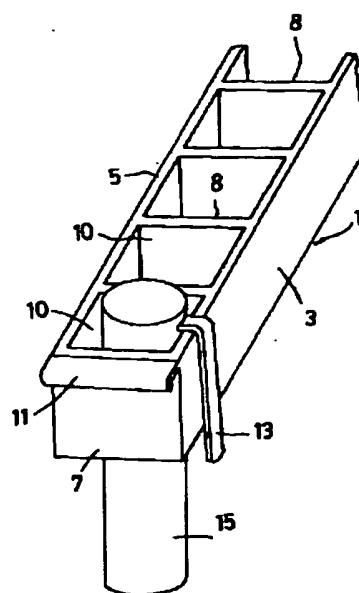
【図5】本発明の塗布具保持体の第4実施の形態を示
し、(イ)は正面図、(ロ)は断面側面図である。

【図6】(イ)は本発明の塗布具保持体の第5実施の形
態を示す斜視図、(ロ)は同第6実施の形態を示す斜視
図、(ハ)は同第7実施の形態を示す正面図である。

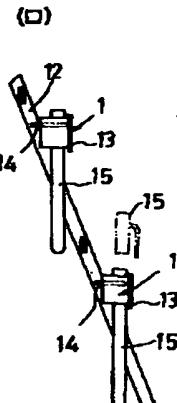
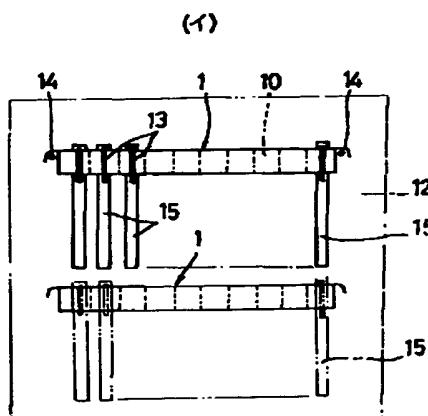
【符号の説明】

1	保持体本体
3	被係止部
10	収納部
13	クリップ
15	塗布具
18	前壁(被係止部)
19	両側壁(被係止部)
28	環状体(輪ゴム)

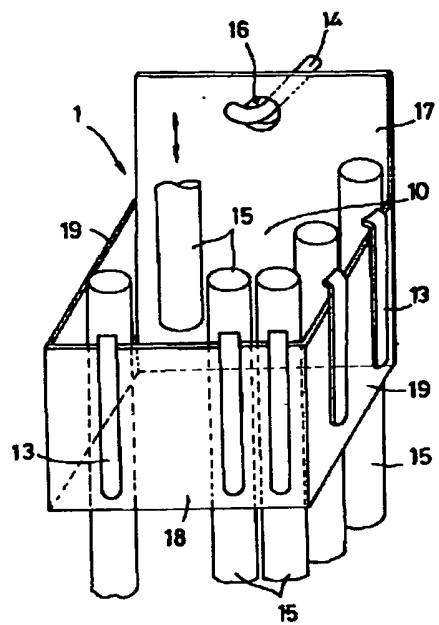
【図1】



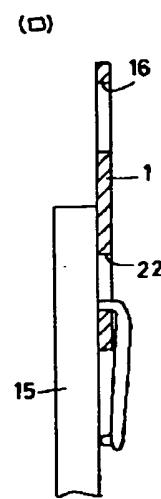
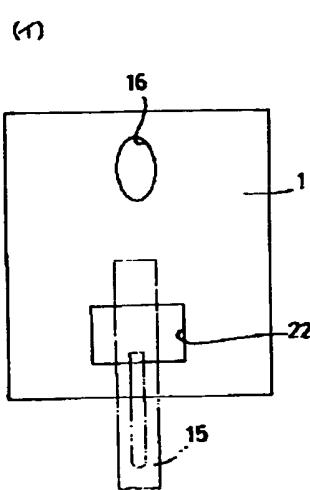
【図2】



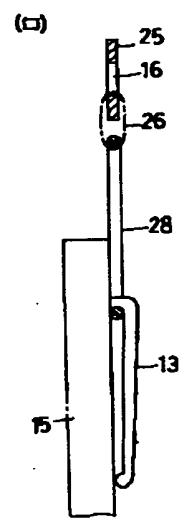
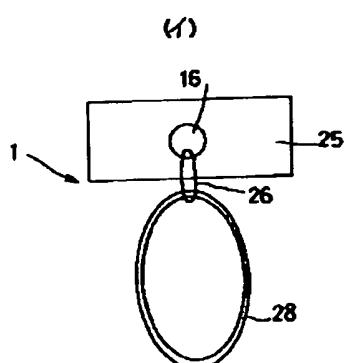
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

